

2022年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 事業の状況

(1) 競技規則の制定

本年度の競技規則の改定はなかった。

(2) 普及促進

- ① 競技役員講習会を東京・石川・大阪・福岡で実施した。申込者数は以下の通り。

・東京 2月25日 67名 ・石川 2月26日 71名
・大阪 3月18日 36名 ・福岡 3月19日 79名

- ② マスターズスペシャルスイムクリニック

12月10日、新潟・ダイエープロビスフェニックスプールにて普及委員(中村真衣委員・中村礼子委員)を講師とするクリニックならびにトークショーを開催した。
エントリー数は7名であった。

(3) 競技会の開催

- ① 2022年度日本マスターズ水泳短水路大会

4月4日より6月6日までの期間、全国23会場で実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、21会場の実施にとどまった。会場は別表1の通り。

- ② ジャンボウカップマスターズスイムミート2022 in FUKUOKA

6月4日より5日までの期間、福岡・福岡市総合西市民プールにて世界マスターズ水泳の円滑な運営を行うことための予行として臨時に長水路の大会を開催した。
エントリー数は185チーム 636名 個人1, 135種目 リレー45種目 であった。
年齢区分を3つのグループに分けチーム対抗戦として実施した。結果は別表2の通り。

A グループ 個人種目:18・25 歳区分、リレー種目:119 歳以下区分

B グループ 個人種目:30～55 歳区分、リレー種目:120～200 歳区分

C グループ 個人種目:60 歳区分以上、リレー種目:240 歳区分以上

- ③ 第37回日本マスターズ水泳選手権大会OWS競技(ジャパンマスターズ2022OWS)

9月4日に常滑りんくうビーチにて一般社団法人愛知水泳連盟主催「とこなめりんくうオープン」と

共同開催した。

エントリー数は78名(全体207名)であった。

④ 第37回日本マスターズ水泳選手権大会(ジャパンマスターズ2022)

9月28日より10月2日までの期間、大阪・丸善インテック大阪プールにて開催した。

エントリー数は993チーム 3,242名 個人6,218種目 リレー235種目であった。

⑤ 2022年度日本マスターズ水泳長距離大会

10月29日より30日までの期間、愛知・サンフロッグ春日井(春日井市温水プール)にて開催した。

エントリー数は139チーム 251名 個人232種目 リレー24種目であった。

⑥ 第9回日本マスターズ水泳スプリント選手権大会(ジャパンマスターズスプリント2022)

11月26日より27日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。

新型コロナウイルス感染症により定員を各日1400名とした。

参加者数は555チーム 2,119名 個人4,039種目 リレー262種目であった。

(4) 地域大会の奨励指導

当協会でご公認するマスターズ水泳大会のうち11会場へ大会運営の支援・指導を行った。

また、2023年世界マスターズ水泳のための育成を兼ねた派遣も2会場で行った。

派遣会場は別表3の通り。

(5) 競技会および記録の公認(2022年)

公認競技会72大会、公認記録会14大会が開催された。公認料免除を昨年度より継続した。

記録公認数 ・公認競技会 個人73,570種目 リレー4,404種目

・公認記録会 個人 4,130種目 リレー 253種目

(6) 国際大会の開催

第19回世界マスターズ水泳九州大会競技運営会議に出席し開催要項作成および競技運営体制構築に協力した。また、登録者からの問い合わせについて組織委員会の協力を行った。

(7) 日本記録の公認および世界記録の公認申請

公認した記録のうち世界新記録樹立45個(個人24・リレー21個)、日本新記録樹立524個(個人420個・リレー104個)であった。世界記録を突破した記録は(公財)日本水泳連盟を通じ国際水泳連盟(FINA = 2022年12月World Aquaticsへ移行)に公認申請を行った。

(8) 機関誌および刊行物

年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。

(9) 栄章・懲罰

① スポーツグランプリ

独立行政法人日本スポーツ協会 スポーツグランプリに鈴木桂氏(山梨峡東水泳クラブ)を(公財)日本水泳連盟を通じ推薦し受賞した。

② 功労者表彰

以下の6名を表彰した。

平井顕吉氏・長谷景治氏・林裕三氏・佐藤博美氏・竹宇治聰子氏・大河内吉行氏

③ 懲罰

公認大会「新春マスターズスイムミート大阪会場(1月29日)」にて棄権者に成り代わり出場した未登録者、当該チーム責任者および同リレーチームの他メンバー2名の計4名を登録抹消した。

(10) 国内外の水泳関係団体との連携協力

① 国際水泳連盟へ年間トップ 10 ランキングを集計し連携した。

② World Aquatics からの第19回世界マスターズ水泳九州大会エントリー者確認に協力した。

③ 公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。

④ 公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人日本スイミングクラブ協会および日本障がい者水泳協会と共同の「水泳の日2022」を高知市東部総合運動場屋内競技場(くろしおアリーナ:高知県)にて9月25日に実施した。

(11) 登録(2022年)

チーム登録 2,836チーム

個人登録 27,639名であった。

2021年登録者は2022年更新時の登録費を 1,000 円とする継続促進策を継続した。

(12) 情報システム

競技会支援アプリ開発について株式会社 VISH との取り組みを開始した。

※別表1(短水路大会会場一覧)

開催日	開催地	会場	申込数
4月3日(日)	埼玉(深谷)	深谷グリーンパーク アクアパラダイス パティオ	335
	和歌山(和歌山)	秋葉山公園県民水泳場	297
	愛媛(松山)	松山中央公園プール (アクアパレットまつやま)	387
4月10日(日)	石川(金沢)	金沢プール	中止
	滋賀(草津)	滋賀県立障害者福祉センター	356
4月16・17(土・日)	千葉(習志野)	千葉県国際総合水泳場	1,544
4月17日(日)	宮城(仙台)	宮城県総合運動公園総合プール 「セントラルスポーツ宮城 G21 プール」	391
	兵庫(尼崎)	尼崎スポーツの森	545
4月24日(日)	静岡(浜松)	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 ToBiO	468
	三重(鈴鹿)	三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 (鈴鹿スポーツガーデン)	569
4月29日(金・祝)	埼玉(さいたま)	アテナ アクアメイツ スイミングクラブ	355
4月30日(土)	広島(広島)	広島県立総合体育館プール	中止
5月 1日(日)	京都(京都)	京都アクアリーナ	1,147
5月 5日(木・祝)	東京(江東)	東京辰巳国際水泳場	1,506
5月7・8日(土・日)	岩手(盛岡)	盛岡市立総合プール	262
	大阪(門真)	東和薬品 RACTAB ドーム (大阪府立門真スポーツセンター)	1,286
5月15日(日)	東京(江戸川)	江戸川区スポーツセンター	658
	沖縄(浦添)	沖縄スイミングスクール浦添校	163
5月22日(日)	神奈川(川崎)	川崎市多摩スポーツセンター	603
	高知(高知)	高知市東部総合運動場屋内競技場 (くろしおアリーナ)	296
5月27～29日(金～日)	静岡(熱海)	マリンスパあたみ	878
5月29日(日)	岐阜(岐阜)	長良川スイミングプラザ	349
6月12日(日)	北海道(札幌)	札幌市平岸プール	495
全国23会場(内実施21会場)			12,890

※別表2(ジャンボウカップ成績)

■総合成績

第1位	トライアンフ	285点
第2位	福岡ムーンC	240点
第3位	はるおか福岡	216点
第4位	コナミ天神	199点
第5位	KSGときわ	189点
第6位	island	182点
第7位	トマ久留米東	176点
第8位	ビキニーズ改	169点

●A グループ成績

第1位	ビキニーズ改	169点
第2位	SYK 関西	71点
第2位	NAHOMIX	71点

●B グループ成績

第1位	KSGときわ	189点
第2位	コナミ城南	124点
第3位	トライアンフ	122点

●C グループ成績

第1位	island	182点
第2位	福岡ムーンC	174点
第3位	はるおか福岡	122点

※別表3(公認大会派遣一覧)

開催日	大会名	主催者	派遣者
7月10日(日)	KANSAI MASTERS 2022	なみはやマスタース実行委員会 (Team STEP)	高橋順一
7月31日(日)	OSAKA MASTERS OPEN 2022	大阪マスタースオープン実行委員会 (Team STEP)	高橋順一 伊香綾子 鈴木溪介
8月 7日(日)	道新杯第103回北海道ブロック マスタースイミングフェスティバル	日本スイミングクラブ協会北海道支部	高橋順一
8月28日(日)	2022 スポーツ報知 マスタースイミング長水路大会	報知新聞社	高橋順一 中村文
9月11日(日)	第29回全九州マスタースイミング フェスティバル	日本スイミングクラブ協会九州支部	高橋順一 山本直弘
9月17~19日 (土)~(月・祝)	第30回レインボーカップマスタース イミング inNAGOYA2022	一般社団法人名古屋市水泳連盟	高橋順一 山本直弘
10月16日(日)	2022年度北海道マスタース長水路 水泳競技大会	一般財団法人北海道水泳連盟	高橋順一
12月18日(日)	第2回 西九州マスタース水泳 フェスティバル	特定非営利活動法人 佐世保マスタース水泳協会	高橋順一 山本直弘
1月28~29日 (土)~(日)	新春マスターススイムミート2023 大阪会場	新春マスタース実行委員会 (Team STEP)	伊香綾子 中村文
2月11~12日 (土)~(日)	新春マスターススイムミート2023 千葉会場	新春マスタース実行委員会 (Team STEP)	齋藤千洋
2月23日 (木・祝)	第73回セントラルスポーツ マスタースフェスティバル(長水路)	セントラルスポーツ株式会社	大崎芳栄
3月4~5日 (土)~(日)	第45回JSCA全国マスタース イミングフェスティバル	(一社)日本スイミングクラブ協会	高橋順一 山本直弘
3月11~12日 (土)~(日)	FIA マスタースイミング選手権大会 2023	(一社)日本フィットネス産業協会	齋藤千洋

※注記

公認大会ならびに記録公認数および登録数については2022年1月1日~2022年12月31日の実績。